

## まこまない明星幼稚園自己評価・学校評価

度の本園の保育・教育全般を総合的に消化し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい

担当

名前

〈教育理念〉

「光の子として歩みなさい」というキリスト教信仰を建学の精神とし、「神様と人から愛され、思いやりと主体性のある子どもを育てる」ことを教育の目標とする。

今年度は『『平和』をつくる』を目標とし、次の方針によって保育を行なう。

- やる気を援助し、子どもの行動を受容する。
- 健康増進と自然を求め、園外保育をする。
- 教材を考慮し、想像力・創造力を養う。

- 評価結果の表示方法
- A 十分達成されている。
  - B 達成されている。
  - C 取り組まれているが、成果が十分でない。
  - D 取り組みが不十分である。

\*その他、今後取り組むべき課題及び具体的な取り組み方法があれば記入する。

自己評価の観点		A	B	C	D
1	園の保育理・保育方針・保育目標の理解について				
	①園の保育理念、園の保育方針。保育目標を理解し、かつ課題を共有している	6	16	1	1
2	保育について				
	①一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	8	10	2	1
	②年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	12	9	0	0
	③評価、資料(諸記録)集積している	12	8	1	2
	④日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	8	11	3	1
	⑤園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	14	6	3	0
	⑥気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	13	10	0	1
	⑦季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている。	10	8	2	4
	⑧子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	7	12	4	1
	⑨それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	9	11	0	2

	⑩保育についての話し合いをよくしている	8	10	2	3
	⑪保育士自身が楽しんで保育をしている	12	7	4	0
	⑫それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	8	10	0	0
3	健康管理について				
	①日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	12	11	0	0
	②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	12	12	0	1
4	行事について				
	①行事の種類や実施回数は適切である	17	8	0	0
	②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	11	8	0	1

自己評価の観点		A	B	C	D
5	食育について				
	①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	7	10	1	1
	②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	10	6	0	2
	③調理担当者、栄養士と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	9	9	2	1
6	運営について				
	①園長や副園長・主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	14	5	0	0
	②各種会議を適切かつ効率的に進めている	11	5	0	0
	③打ち合わせ回数、時間、内容は適切である	9	5	0	0
7	保健・安全指導について				
	①クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じている	8	6	3	1
	②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	13	4	0	1
	③事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができるようになっている	6	9	3	1
	④廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	16	5	0	0
	⑤室内の衛生、クラス周りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	11	10	2	0
8	研修について				
	①部内、部外研修への参加体制の充実を図っている	9	4	0	0
	②研修報告を園内で実施している	8	1	3	0
9	情報について				

	①園児の個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理、保管している	12	5	0	0
	②園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	16	4	1	0
	③各表簿は、適切な時間、方法で作成・処理している	6	3	1	0
10	設備について				
	①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	11	8	1	0
	②掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	11	6	1	0
11	保護者支援について				
	①子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	10	9	1	0
	②クラス懇談や個別懇談を行っている	10	8	1	0
	③入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供をおこなっている	9	8	1	0
	④保育参観などの機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	10	8	1	0
12	開かれた園づくりについて				
	①医療機関や保健センター、などの専門機関と連携を図り保護者にも情報提供を行っている。	10	7	1	0
	②職業体験や実習生の受け入れを行っている	8	7	1	0
	③来客や地域の方に明るく挨拶をしている	9	7	1	0
	④園便り、ブログなど情報の発信に努めている。	9	7	1	0

## 自己評価、学校評価について

- ・自己評価については、教師の担当によって、振り返りの難しい内容もあったので、次年度は、検討する。
  - ・乳児、幼児の職員配置は、最低限の配置はしているが、急な職員の休みにも対応できるように改善を図る。
  - ・現場の先生がそれぞれ、最高の仕事をしようと励んでいるが、忙しい時期になると特に意思の疎通ができないので、互いに声を掛け合うよう心がける。気持ちの余裕と、時間の余裕をもてる職場づくりを管理職が作っていく必要がある。
  - ・子どもたちのために行動習慣を育てるうえで時に厳しさも必要であるが、キリスト教保育の土台とした愛ある言葉がけを心がけていく。
  - ・安全危機管理を再度確認し、みんなの目で危険がないかを日々確認し合う。
  - ・仕事の内容の確認、期限、準備などについてもみんなで同じ基準に立ち取り組めるようにする。(この日までに終わらせる、準備するところがずれてしまうと、結果的に周りの教師に負担がかかってしまうため)
  - ・試行錯誤の移行してからの2年目。子ども達の過ごす環境の見直しをしながら、良い方向に進んでいきたい。
  - ・急な体調変化(熱性けいれん、アレルギー等)の対処法を研修したい。
  - ・規定やマニュアルを全職員がみることができる場所の設定をする。
  - ・教師が不足している中、様々な時間帯、職種の教職員が共に同じ方向を向くために今以上に連携をとっていく必要がある。
- 声掛け、確認はもちろんであるが、事前のお知らせや報告なども密に行えるよう検討していく。

## 評価委員より

- ・こども園として、再スタートし、新体制で試行錯誤で仕事も増えていると思います。その中でも保育に関しては前体制からの経験が生かされ、安心して子どもを預けられる園になっているとおもいます。
- 先生のの忙しさが増し、先生同士のコミュニケーションが不足と考えられていますので、人員の増加を願うばかりです。
- ・まこまない明星幼稚園では、乳幼児と幅広い園児がいるなか、適切な保育がなされ、園児がのびのびと過ごせているように思います。
- 評価において、園では、保育と教育の質の向上、職員同士の連携の強化、職場環境の改善を目指す意見が多くみられ、認定こども園移行3年目に向けてさらなる向上と安定が期待されます。